

◇ 国 語

国 7-1～国 7-14 まで 14 ページあります。

第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

巖谷小波は医者になるように育てられ、ドイツに留学していた兄からは、医学に必要なドイツ語の勉強のためにと、民話や昔話の本が送られてくる。小波はドイツのお話からむしろ文学の面白さに目覚め、十七歳で尾崎紅葉の文学結社硯友社に参加する。後年自らもドイツに留学し、帰国後は児童文学の普及に努め、子供の教育改革の道へと進んでいった。出版社の博文館に勤める傍ら、児童文学の創作に励み、日本の昔話、お伽話、世界の童話を編纂するなど、あまり力エリみられなかった文学のジャンルを開拓していく。

小波が語り伝えられていた昔話やお伽話に新しい息吹を注ぎ、語りによる「口演」童話を実践し、お伽芝居やお伽倶楽部を通じて子供教育にかかわってきたことは、すでに述べてきたところである。その中でも小波が桃太郎を子供の理想の姿とし、「桃太郎主義」をテイショウウするのは、日清日露という戦時的な時代とともに、小国民育成の風潮が背景にあったのであろう。

桃太郎の源流はともかく、室町期にはお伽草子の「一寸法師」や「浦島太郎」などと同じく、アの物語として流布していたのであろう。江戸時代になると、多様な桃太郎話が草草紙などで出版され、絵入り読み物として流布もしていた。ポピュラーな話だけに、人々は想像をめぐらし、桃太郎誕生の秘話から後日譚まで、さまざまな展開によって楽しみもしていた。鬼が島から鬼姫を連れて帰って結婚したとか、宝物とともに心の優しい白鬼をとめない、桃太郎は十六歳で元服、白鬼も角を切つて元服し、鬼七と名を改めたなどと、空想は広がっていく。

今日一般に知られる桃太郎は、明治二十年の『尋常小学読本』に収められて定着するが、それ以前は桃を食べた老夫婦が若返り、男の子が生まれるという話が主流であった。明治二十七年に巖谷小波が新しい「桃太郎」を発表すると、それが以後の物語を方向づけることになる。

『尋常小学読本』の初めの部分を引くと、

むかし、ぢぢと ばぢと が 有りました。

ぢぢ は、山 へ くさかり に、ばぢ は、川 へ せんたく に 行きました。

川上 から、大きな 桃 が 一つ、ながれて 来ました。それを 取りて 見ますと、大さう うまさう な 桃 でありました 故、ぢぢと ふたり で、たべやう とて、家に 持ちかへりました。

と物語は筋だけで進行し、それ以外の描写はほとんど用いられない。『小学国文読本』（明治二十五年）、『小学国語読本』（明治三十三年）でも、一部に表現の違いが存するとはいえ、基本的には変わらない。

巖谷小波の作品になると、

むかし／＼ 或る処に、爺と婆がありましたとき。或る日の事で、爺は山へ芝刈に、婆は川へ洗濯に、別れ／＼に出て行きました。

時は丁度夏の初旬、堤の草は緑色の袴を敷いた如くに、岸の柳は藍染の総を垂した様に、四方の景色は青々として、誠に目も覚める斗り。折々そよそよと吹く涼風は、水の面に細波を立たせながら、其余りで横顔を撫でる塩梅、

と子供向けの平易な文体、耳に聞いていても心地よい語り口、これは読むのではなく、身振りもまじえた「口演」にふさわしいスタイルといえよう。大きな桃が「ドンブリッコッコ、スッコッコ、ドンブリッコッコ、スッコッコ」と流れてくるというのだから、聞く子供たちはますます情景をソウネンに描きながら聞き入ることであろう。「遠い水は辛いぞ！ 近い水は甘いぞ！ 辛い処は除けて来い！」などと語りかけると桃が寄ってきたのだという。

十五歳となった桃太郎は、「我皇神の皇化に従はず、却て、此芦原の国に寇を為す鬼が島の鬼たちを、征伐するために出かけると老父母に申し出る。悪鬼をクチクすることによって、わが国の平穩をもたらすと主張するのは、まさに明治政府の思想的

根源でもある皇国史観にもとづくことは容易に知られるであろう。桃太郎は婆とともに黍団子きびを作つて出陣し、途中で犬、猿、雉を共に従え、鬼の征伐を果たす。隠れ蓑、打出の小槌、如意宝珠にょいほうじゆなどの宝物を持ち帰り、「いよいよ市が栄えましたとき、めでたしめでたし」となる。小波は、その後幾度か改稿するが、基本的な話の構成に変わりはない。

古くから伝えられたお伽話とはいえ、考えてみるとひどい話で、桃太郎は「日本の東北うしろの方、海原遙かに隔てた処に、鬼の住む島が御座ります」と、鬼門の方角とする北方の国を指すのか、一方的に「鬼」と断じ、成敗して大量の宝物を持ち帰るというなりゆきである。福沢諭吉は、子供へ書き与えた教訓書の『日々のをしへ』（明治四年十一月）で、「もゝたるふが、おにがしまにゆきしは、たからをとりにつくといへり。」
イ ことならずや」とフンガイし、鬼の大切な宝物でありながら、桃

太郎が理由もなく奪い取るというのは、盗人に等しい行為だと断ずる。鬼が悪人で、世の中の妨げになるのであれば、桃太郎が勇気をふるつて懲罰するのは許されるにしても、所有していた宝物を持ち帰り、祖父母に与えたとなると、たんに欲深さからしたにすぎなく、卑劣きわまりないとウ する。お伽話なので、ことさら目くじらを立てるまでもないとはいえ、福沢は子供の教育にむしろ悪影響を与えるとの危惧bによるのであろう。

ただ、この考えは継承されず、むしろ時流にも乗り、武勇にすぐれた桃太郎の姿と称賛され、巖谷小波も積極的にその存在意義を主張していく。小波には『桃太郎主義の教育』（大正四年二月、東亜堂書店）の著作まであり、桃太郎を理想の姿として教育実践に応用すべきであると主張する。国際的な立場からすると、明治政府は進取的な対外政策をとる必要があるとの立場が根底にあり、小波はそこから少年教育の持論を説いていく。独立心の涵養かんようは得心のいくことで、犬、猿、雉といった初対面の畜生にまで、無造作に黍団子を与えたのは、それだけ桃太郎は寛容な心を持っていたのであり、一方的に恩を売って奉公させる思惑があつたわけではない。主従の堅い関係を結んで忠義に励む振る舞い、桃太郎が親に尽くす孝心などと、小波はそのすばらしさを強調する。このように展開する道徳論は、あまりにも牽強付会けんきやうかひすぎるとはいえ、時代思潮の影響もあり、人々から受容され、人気のあるお伽話として好まれ、芝居にもされていく。

（伊井春樹『小林一三は宝塚少女歌劇にどのような夢を託したのか』による）

問一 傍線部A・B・C・D・Eと同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選ぶ。

A カエリみ(る)

- ①遅くキタクする
- ③新品とコウカンしてもらう
- ⑤野球部のコモンになった

- ②手紙のヘンジを書く
- ④父がカンレキを迎えた

1

B テイシヨウ

- ①改革案をテイゲンする
- ③法にテイシヨクする
- ⑤川のテイボウが決壊した

- ②敵方をテイサツする
- ④条約をテイケツする

2

C ソウネン

- ①セイソウを経る
- ③ソウケンに富む論文
- ⑤ソウケイに過ぎる

- ②国民のソウイで決める
- ④戦前をソウキする

3

D クチク

- ①感極まってゼツクする
- ③クキョウに立つ
- ⑤クドクを施す

- ②全能力をクシする
- ④お地藏様へのクモツ

4

E フンガイ

- ①彼のキガイは立派だ
- ③不正をダンガイする
- ⑤発展をソガイする

- ②カンガイにふける
- ④ガイ口樹を植える

5

問二 空欄 ア・イ・ウ に入る最も適当なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ一つずつ選べ。

ア

- ① 因果応報
- ② 抱腹絶倒
- ③ 百鬼夜行
- ④ 勸善懲惡

6

イ

- ① あっぴげなる
- ② たわいなき
- ③ けしからぬ
- ④ たけだけしき

7

ウ

- ① 処断
- ② 糾弾
- ③ 追求
- ④ 詠嘆

8

問三 傍線部 (a)・(b)・(c) の意味として最も適当なものを、次の各群の①～④の中からそれぞれ一つずつ選べ。

(a) 目くじらを立てる

- ① 必死になること
- ② あら探しをすること
- ③ 真面目に問題にすること
- ④ はつきり見極めること

9

(b) 危惧(する)

- ① 恐れること
- ② 用心すること
- ③ 疑いを持つこと
- ④ 予測すること

10

(c) 牽強付会

- ① 強く言い張ること
- ② しつこく言い募ること
- ③ 無理にこじつけて言うこと
- ④ 独りよがりな意見を付言すること

11

問四 傍線部(一)「子供の教育にむしろ悪影響を与える」とあるが、福沢がそう考えた理由として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

① 桃太郎が桃から生まれることや、鬼が島へ渡り鬼と戦うなど、現実にはあり得ないばかりかばかしい話であり、子供には百害あって一利なしの話であるから。

② 犬、猿、雉は仲間とするが、鬼だけは敵として成敗するという内容は、平等思想の観点から欠けており、いじめにも通じかねない話であるから。

③ 桃太郎が、犬、猿、雉と共謀して鬼を退治することを美化する好戦的な話であるので、平和思想を身につけるべき子供時代に読ませたくはない話であるから。

④ 鬼を征伐して、その宝物を奪うという桃太郎の行為には合理的な理由が見当たらず、事の善悪を学ぶべき子供時代に読ませるには問題があるから。

12

問五 傍線部(二)「桃太郎を理想の姿として教育実践に応用すべきであると主張する」とあるが、巖谷が主張する理由として

間違っているものを、次の①～④の中から一つ選べ。

13

① 桃太郎が鬼を恐れずに成敗に向かうという話は、悪鬼にひるまず立ち向かう勇敢さを教えることができる考えた。

② 黍団子を作ってくれた婆様へのお土産に色々な宝物を持って帰る点に、小さな恩義にも大きく報いるという感謝の在り方を教えることができる考えた。

③ 十五歳の桃太郎が自ら鬼退治を決意し、ひとりで鬼が島に向かうというお伽話によって、独立心を養うことの大切さを教える事ができると考えた。

④ 犬、猿、雉など、偶然に出会った動物に黍団子を分け与えた結果、忠誠を尽くす家来を得たという話によって、寛容な心を持つことの大切さを教える事ができると考えた。

問六 本文の内容と異なるものを、次の①～⑥の中から二つ選べ。

14

15

① 桃太郎は、古く室町時代から人々に読まれていた物語で、江戸時代には挿絵も付いた多様なバリエーションの物語が出版された。

② 巖谷小波作の「桃太郎」の流行には、戦時的な時代風潮や明治政府の思想的根元や政策と合致した事が大きく影響している。

③ 巖谷小波は、医者になることを目指してドイツ語を勉強していたが、ドイツの民話の面白さに魅せられて、児童文学の創作を始めた。

④ 「桃太郎」は、福沢諭吉が、話の内容を厳しく批判したため、明治・大正時代の知識階層には、ほとんど読まなかった。

⑤ 巖谷小波は、古来、人気があった日本のお伽話を、子供にも分かる平易な文章によって、語り演じる児童文学として書き直した。

⑥ 福沢諭吉は、鬼退治に向かう桃太郎の勇敢さは称賛したが、鬼の宝物を奪ったことは盗人に等しい許せない行為だと断じた。

問七 尾崎紅葉の作品を、次の①～⑤の中から一つ選べ。

16

① 『坊っちゃん』

② 『金色夜叉』

③ 『舞姫』

④ 『暗夜行路』

⑤ 『たけくらべ』

第二問 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

「^aコミュニケーション能力」という言葉が飛び交っている。コミュニケーション能力のことである。「^bコミュニケーション障^{しょう}」という言葉さえある。コミュニケーションを高めるための小学生対象のコミュニケーション塾や大人相手のコミュニケーションセッション開発講座などもある。

「^Aコウゲン令色^{すくな} 鮮^{すくな}し仁^{すくな}」や「沈黙は金、^Bユウベンは銀」などの言葉を耳にし、「沈黙考」をよしとした世代には時代の変わり様^{さま}が大きい。

そもそも以心伝心で成り立ってきた日本社会ではコミュニケーションに該当する日本語がなかった。だからマス・コミュニケーションのようにカタカナ使用だったが、日常用語としては今ほど使用されてこなかった。

ところが近年は、コミュニケーションが「コミュ」と略され、さらに「コミュニケーション」が生きる術の要のように使用されている。「現代日本に妖怪が徘徊^{徘徊}している。コミュニケーションという妖怪が」とでもいいたいほどである。

コミュニケーションが言われ出したのは、知識量や^Cジュウジュン、勤勉などの「近代型能力」に対して、これからは創造性や能動性、交渉力などの「ポスト近代型能力」が必要だとされ出したあたりからである。たしかにコミュニケーションは、サービス労働が主流となり、物を相手にした肉体労働よりも人間を相手にした感情労働の時代になったことと関連している。また変化が激しい流動的^{流動的}社会において、すばやく対応する能力が必要ということにも関連しているだろう。

そうしたことから、企業でもコミュニケーション能力が重視されることになった。学校教育においても、知識量や努力を重視する「^D旧^{ふる}い学力」（近代型能力）にかわって「新しい学力」（ポスト近代型能力）が目標とされるようになり、「コミュニケーション能力」が、その柱のひとつになった。こうみえてみると、「コミュニケーション」が時代のキーワードになるのも当然といえるかもしれない。

しかし、コミュニケーションという用語がこうも跋扈^{跋扈}するのはそれだけの理由ではないように思える。たしかにコミュニケーション能力のひとつなのだが、あくまでひとつにすぎない。創造力や能動性などよりも、突出してコミュニケーション的になるのはどうしてかを考えるべきであろう。

ポスト近代型能力の創造性や能動性などは、近代型能力の受動的な知識量や勤勉とは違って抽象的である。それらが指し示すものがわかりにくい。だからどのようにすれば、どこまで到達するかが明確ではない。そこでコミュ力がなんでも入る、ずだ袋のようなものとなり、万能薬のように闊歩するのではないだろうか。創造力といわず、コミュ力といえば、誰でも開発できそうだ。そんなことから、食いつきがよいものになる。

さらに言えば、学校で「腕力」がスクール・カーストの決め手にならなくなったことも関係している。いまや腕力にかわって、コミュ力による「話し上手」がスクール・カーストの切り札になった。いじめにあわないために空手を習うのではなく、コミュ力を磨かなければいけないという雰囲気になった。こういう変化も関連している。

ア、コミュ力という言葉のとつきやすさと万能薬的な受け止め方には問題がある。そんなことを考えていたときに、面白い本に出合った。

いまの日本はお笑いタレントがムソウ化する「芸人万能社会」となっていることを指摘した本である。そうなる理由に、人々が「コミュニケーション(能力)を過剰に意識する」ことが挙げられている。つまり芸人が「コミュ力」や「空気読み」の「お手本」になっているからだという(太田省一『芸人最強社会ニッポン』)。たしかに今時の大学生は、テレビに出ている芸人そっくりのしゃべり方をする。コミュ力至上(と考える)社会のなせるわざであろう。

しかしどうだろうか。われわれが目にする芸人のコミュニケーションは、バラエティーなどのキョウコウの世界のコミュニケーションである。だから「盛る」ことも「嘘をつく」ことも芸のうちである。このようなコミュ力をそのまま堅気の実生活に持ち込めないだろう。持ち込めば、「舌先三寸」とか「調子のよい奴」とされ、信頼や信用を失うのは目に見えている。

翻って、コミュ力の「模範」とされる芸人の実生活(舞台裏を考へてもみよう。舞台裏では、芸を真剣に磨いている。創造性や能動性などのポスト近代型能力はもとより、知識や勤勉、努力などの近代型能力もあだやおろそかにしていない。昔気質を思わせるほどの律義さをもって人間関係にも気をつかっているはず。そうでなければ一発屋で終わるだろう。

水面を優雅に泳ぐ白鳥は水面下では必死に水をかいているということだ。コミュ力という言葉の雰囲気感に惑わされてはいけな

(竹内洋「産経新聞 正論」による)

問一 傍線部A・B・C・D・Eと同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

A コウゲン

- ① 日々これコウジツ
- ② コウロンの末物別れとなる
- ③ 勝敗にコウダイしない
- ④ 敵陣をコウリヤクする
- ⑤ コウミョウな作戦

17

B ユウベン

- ① 国の将来をユウリヨする
- ② 新聞のカンユウ
- ③ バンユウを振るう
- ④ シユウを決する
- ⑤ ユウゲン実行の人

18

C ジュウジュン

- ① メンジュウ腹背
- ② ジユウオウ無尽
- ③ キョジュウ空間
- ④ ゲンジュウ注意
- ⑤ イチジュウ一菜

19

D ムソウ

- ① 冠婚ソウサイを営む
- ② ソウゴンな儀式
- ③ 彼のソウケンに掛かっている
- ④ 貸し借りをソウサイする
- ⑤ 敵をイツソウする

20

E キョコウ

- ① トツキョウ権を申請する
- ② ケンキョウな振る舞い
- ③ コンキョウをあげて証明する
- ④ 知事のキョシユウに注目する
- ⑤ キョタクを定める

21

問二 傍線部 (a)・(b) の意味として最も適当なものを、次の各群の①～⑥の中からそれぞれ一つずつ選べ。

(a) コミュニカ

- ① 意思疎通をおこなうための能力
- ② 他人との会話が苦痛で苦手な人
- ③ ことばを使わずに他人にうまく伝える力
- ④ 周りの人と仲良くやっつけていける性格
- ⑤ その場の雰囲気になじめやすい人
- ⑥ からだに障害があつてうまく言葉が話せない人

22

(b) コミュニ障

- ① 意思疎通をおこなうための能力
- ② 他人との会話が苦痛で苦手な人
- ③ ことばを使わずに他人にうまく伝える力
- ④ 周りの人と仲良くやっつけていける性格
- ⑤ その場の雰囲気になじめやすい人
- ⑥ からだに障害があつてうまく言葉が話せない人

23

問三 空欄 ア に入る最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

ア

- ① だから
- ② なぜなら
- ③ そして
- ④ しかし
- ⑤ なかんなく

24

問四 次の表は、本文で述べられている「近代型能力」・「ポスト近代型能力」に関連する言葉を対応表にしたものである。表の空欄「イ」・「ウ」・「エ」・「オ」・「カ」に当てはまるものを、後ろの①～⑨の中からそれぞれ一つずつ選べ。

近代型能力	イ 労働	固定的社会	エ 学力	受動的	カ
ポスト近代型能力	感情労働	ウ 的社会	新しい学力	オ 的	コミュニカ

- ① コミュ障
- ② 高い
- ③ 頭脳
- ④ 知識量
- ⑤ 流動
- ⑥ 封建
- ⑦ 肉体
- ⑧ 旧い
- ⑨ 能動

イ	ウ	エ	オ	カ
—	—	—	—	—
25	26	27	28	29

問五 この文章は次のA・B・C・D・Eの内容からなるが、述べられている順番を示したものとして最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。

30

- A 「コミュニケーションがなぜもてはやされるのか」
- B 「日本におけるコミュニケーションとは」
- C 「コミュニケーション万能主義は危険である」
- D 「コミュニケーションとは何か」
- E 「近代型能力からポスト近代型能力へ」

① B—C—D—E—A

② D—C—B—E—A

③ B—D—E—A—C

④ D—B—E—A—C

⑤ E—D—C—B—A

問六 「芸人万能社会」に関する指摘について最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

31

- ① 芸人はコミュニケーションを仕事にしているので、われわれがコミュニケーションを養う上でお手本となる。
- ② 芸人のバラエティーでのコミュニケーションは、実生活とは異なる面があるので注意する必要がある。
- ③ 芸人の舞台裏の実生活こそコミュニケーションに直結するものであり、われわれは見習わなければならない。
- ④ 今時の大学生はテレビに出てくる芸人そっくりのしゃべり方しており、コミュニケーションの高さを物語っている。

問七 本文の内容と異なるものを、次の①～④の中から一つ選べ。

32

- ① コミュニ力は、ポスト近代型能力においてもっとも重要な能力なので、教育上重要視されている。
- ② 芸人は一見、ポスト近代型能力の最先端にいるように見えるが、実は近代型能力に支えられていると考えられる。
- ③ 日本社会は以心伝心で成り立ってきたため、コミュニケーションに該当する単語がなかった。
- ④ 学校における序列では、昔は力が強いことが決め手だったが、今では話し上手であることが切り札になる。